

情熱

J R 東 労 組 大 宮 地 本 青 年 部
発 行 責 任 者 畠 山 豪 部
編 集 責 任 者 教 宣 部

No.010 2022 年 11 月 15 日

申6号「年末手当等に関する申し入れ」第3回交渉

支給月数 2.4ヶ月 + 2万円



会社はホントに社員の事は考えてないと感じた。 会社は私達が集めた生活実感、労働実感の全てを受け止めたが、回答は低額。黒字にした努力も感謝するといいながらこの回答で、どこにそれが含まれているのだろうか。物価上昇の生活苦分も含まれている。離職者に対する危機感も訴えたが、それに対する対策もこの回答に含まれていると言ってるが、これでは組合員・社員の声に向き合ってるとは、とてもじゃないが思えない。 私達には我慢を強いて、経営者達の報酬カットはしれっと辞めている。私は許せない。年間5ヶ月ないのは衝撃。 とても残念…家庭を持って「さあーこれからだ！」という中、身の回りの物は高くなる一方で給料は下がる一方、この先に大きな不安を抱いてしまう。 大企業が率先して賃上げしていくべきだ。この会社でよくみんな頑張ろうと思っている、特に非組。「ありえない」の一言だ。去年は赤字だったからもらえるだけありがたいという気持ちがあったが、努力してきて黒字になったのに 2.4 はひどい。これでモチベーション維持できる人がいたら教えて欲しい。 2.4 でこれから頑張れない。生活出来ない。家族養えない。怒りを通り越して呆れた。正直 2.4 ヶ月で落胆…うちの会社は基本給が少ない分ボーナスで穴埋めしてる感じで、他の企業と年収がどっこいどっこいになるところがあるから、他の企業より 確実に低収入になるってることだと思う。あと、ニュースとかでボーナスアップとかって見たときに思ったのは、アップしたってことだけ報道してくれれば良い印象に見えるから、0.1 ヶ月だけアップして、世間体には良く見せて、社員のところは考えてないのかな って感じた…。 素直に意欲が削がれる。生活等々のことを考えると もっと欲しい。子供も産まれて、今後お金も沢山かかるから今から貯金したい。少子化対策のためにも子供がいる世帯のことも考えて増やして欲しい。2.4 ヶ月の中に生活実感、労働実感、コロナに対してが含まれているということで、全く社員の事を考えられた回答ではない。再考しないという考えは、どんな声も聞き入れないという姿勢であり正常な企業体質ではない！ 黒字に転換した組合員、社員の努力を無視し、社員とその家族を守る会社の責務を放棄していると思えない！今回の結果は人材流出をさらに生み出していくのではないかな。納得出来るものではない！夏よりは上がったが…。東海や西日本と足並みを揃えたんだな、という印象。収入はコロナ禍前には到底及んでいないので、19 年度以前と同水準の回答は難しいとは思っていたが…2 万円の付加は若手社員には大きいと思うが、手当部分をもう少し欲しい。社宅へ引越して、家具を買う予定だったが…リンクを下げるとか買うのも控えるかもしれない。 引越しを考えていたが、悩むかもしれない。予想を下回りガッカリ。愕然とした。全然満足しない。一律 2 万出したからいいだろうって感じがした。 夏よりもっと出ても良いし、黒字分が 0.1 というのは酷いと！離職者も増えてて、福利厚生を良くするとかなんか言ってるが、なんかクーポンでも出すのか？クーポンよりもお金が欲しい。まずは偉い人が誠意を見せないと納得出来ない。黒字転換したのに、なぜこんなに低いのか驚きと失望しかない。 コロナ禍の苦しい時も、我々社員は一生懸命頑張ってきたにも関わらず、結果がこれでは全くモチベーションが上がらない。怒りを感じるし、もうこれ以上会社のために頑張っても無駄のような思いしかない。 どんどん酷い会社になっていくと感じる。



青年部員・若手未加入者から怒りの声続出！その②へ